

## 富秋中学校区等まちづくり検討会議（平成 30 年度第 5 回） 議事概要

1. 日 時：平成 30 年 10 月 31 日（水）19：00～20：00

2. 場所：和泉市 人権文化センター 1F 大会議室

3. 出席者：委員 15 名（名簿参照）  
和泉市職員 14 名  
コンサルタント 3 名

### 4. 議事次第

- （1）部会での検討状況について
- （2）まちづくり構想に向けた今後の進め方について
- （3）その他

### 5. 議事概要

#### ■部会での検討状況について

※以下、特記無き場合委員の発言

- 子育て・教育部会の検討状況について部会長より挨拶
- 市浦より資料説明 資料 1 【各部会報告】  
参考資料 1 【これまでの学校教育再編の議論まとめ】  
参考資料 2 【子育て環境の議論まとめ】
- 住環境コミュニティ部会の検討状況について部会長より挨拶
- 市浦より資料説明 資料 1 【各部会報告】  
参考資料 3-1 【市の住環境における基本的な考え】  
参考資料 3-2 【住環境コミュニティに関する検討のたたき台】
- 福祉部会・地域活性化部会について市浦より説明  
資料 1 【各部会報告】

#### ■まちづくり構想に向けた今後の進め方について

- 資料説明 資料 2-1 【まちづくり構想に向けて】  
資料 2-2 【今後の進め方提案】
- 今後の進め方について、提案した内容で進めていくことで、委員より同意を得た。
- 市よりサウンディング調査について説明  
資料 3 【民間事業者サウンディング調査について】

- 和泉市の人口は増えているか。富秋中学校区の人口はどうなっているか。少子高齢化が進んでいると思うが、そういった事実を踏まえてまちづくりを考えていかないといけないと思う。そうでなければ今議論していることは青写真だけで終わってしまう。若い人に移り住んでもらうために必要なことを真剣に考えないといけない。

⇒（市）

高齢化率については、平成29年3月31日時点で、和泉市全体は23.4%。富秋中学校区は29.4%、池上小学校区は27.0%、幸小学校は34.0%、全国平均は27.3%となっている。

- 地域の少子高齢化の具体的な課題、原因、解決方法を考えていかないといけない、ということだと思う。建物を新しくするだけでなく、魂を入れるような活動をしていかないと、地域に魅力を感じることができないと思う。昔はこの地域にも魅力があり、様々な人間関係の中で生活が出来ていたが、今は薄れてきている。

⇒（事務局）

参考資料3-2について、市営住宅の改修、空きスペースの活用、市営住宅の建替え、複合施設など、一見すると青写真的な表現になっていると思うが、これまで議論を交わしてきた中で出てきた意見の集大成とっていただければと思う。これまで地域の皆さんが何度も口にされていた言葉を5つ「大切な目線」として、今までの意見を踏まえてこちらから提案したものだが、住環境コミュニティ部会の場で皆さんからご意見いただき、この方向性について賛成いただいたものである。中長期的には、市営住宅を建替え、安心して住めるまちをつくっていく方向性だが、目の前で出来ることとして、市は市営住宅の改修を進め、地域は「地域で子育て」をキーワードに、今ある活動（どろんこ子ども会やてらこやハッピー等）を束ねて、子育て環境を汗かいて整えていく、その一歩としてクリスマス会等のイベントを開催しよう、という流れになっている。このような動きについてもまちづくり構想に反映しつつ、他の大事なことについても今後議論していきたい。

- 先日の台風のあとに災害ごみが出されていたが、それ以外のごみ（古いテレビ等粗大ごみ）も出ていた。イベントを色々やるのもよいが、地域住民の道徳的な意識が欠如していることが問題。そのような環境の中で子育てをしたいと思わないだろう。
- 町会のだんじりの引き手も少なくなってきたおり、若い人に引いてもらうために、ジュースやお菓子等用意しているが、一方で祭りに協力せず美味しい所どりをする人がいるなど、地域住民の道徳意識の欠如について感じる部分はある。
- 地域を大事にしよう、自分たちのまちだからきれいにしようという想いが無いのではないかと。自分自身もこのまちで育ったが、団地は行政が建てたもので、自分達のものという意識は薄いので、このまちづくりの中で、自分達で作ったまちだから～しようという雰囲気、郷土愛を持てるような取り組みが必要だと思う。また、このまちづくりの取り組みが地域に浸透していったらよいと思う。
- UR 鶴山台も人口が半分くらいに減ってきており、噂ではあるが、更地にして大型商業施設をつくるといった話もあるというようなことを聞いた。若い人に来てもらうためには、そういった計画も考えられるが、失敗することもあるので慎重になるべき。信太中学校も生徒が減ってきているそうだが、実感としてどこに行っても子どもが少ないと思う。

- 資料 2-2 について「子育て世帯誘導プロジェクト」とあるが、福祉部会の「試行プロジェクト」については別途、高齢者向けイベントを企画するというのか。

⇒（事務局）

福祉部会についてはまだ一度しか開催できておらず、校区毎の協議の場を持っただけの状況なので、これから何かやらないといけないと思っているが、具体的な内容についてはまだ決まっていない。
- そのような他の部会の情報は、その部会に出ていない人でもわかる方法はあるのか。

⇒（事務局）

検討会議の場をこれから頻繁に持つことになると思う。また、例えば住環境コミュニティ部会の場で、子育て教育部会が出た意見を紹介する等、各部会で適宜情報提供はしていく。最初に各自が参加する部会を決めたと思うが、それにこだわらず参加いただいて構わない。他の部会についての疑問は問合せてもらえれば随時説明する。
- 土地活用についてのサウンディング調査について、募集をこれからかけるということだが、対象となる企業の目星は付いているのか。

⇒（市）

基本的には手を挙げていただいた企業に話を聞く。住宅を誘導するような内容であれば、デベロッパーやハウスメーカーに、どのような条件であれば可能か、など対話をしながら可能性やニーズを把握していく。ただし、現時点でまだ何も決まってない中でのヒアリングとなるので、議論が深まり各ゾーンのイメージが固まった後、改めてヒアリングの機会を設ける等のことは考えられる。

⇒（事務局）

こういったサウンディング調査というのは、例えば行政所有の土地を売るなどの場合、とても時間がかかるので、通常何度も行うもの。今回は最初の段階なので、各企業に提案がもしあれば持ってきてほしい、というくらいで、自由に意見を聞くような段階と考えてもらえれば良いと思う。
- デベロッパーだけでなく、社団法人や学校法人も対象となるのか。また、HP にあげて意見を募るといことで、情報が独り歩きするのが怖いので気を付けていただきたい。

⇒（事務局）

デベロッパー以外も対象となる。こういった話は間違った噂が広がりやすいので、まちで聞かれることがあれば、できる限り正確な情報を伝えるように皆様にはご協力をお願いしたい。
- 参考資料 3-2、「市営住宅の改修」とあるが、今どれくらい進行しているのか。住んでいる人は早く改修してほしいと思っているが、いつ行か等の情報がなく不安なまま暮らしている。
- 資料 2-2、「子育て世帯誘導プロジェクト」や、子育て世帯が住めるような住宅を作っていく、という取組みがあるが、仮に成功して地域に子どもが増えた場合に、現在議論している小中一貫校化の話はまた議論し直すことになるのか。

⇒（市）

学校の校舎を建てる場合、現在の子どもの数を基に学校を建てるというのが国の考え方としてあり、地域に子どもが増えた場合は増築が必要となり、その支援をしていくというルールがある。また、学校を作るにあたり、通常の教室だけではなく、多目的教室も作り、子どもが増えた際に一時的に転用する等の弾力的な対応は考えられる。

■今後の予定

- 各部会の日程・場所については部会長と調整し、ニュース等で連絡するので周知にご協力いただきたい。また、検討会議についても12月を目途に開催したいと考えている。
- 幸小学校区で防災訓練が11/4に開催。3年前は幸小学校で行っていたが、今回は和泉第一団地の横にある旭公園で実施する。池上の人にもきていただいて参考にしてもらえれば。

以上